

# Oh!Me

インターネットと連動した  
【滋賀生活情報紙】

MAINICHI  
**新毎日**  
新聞日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

**滋賀ガイド** [www.gaido.jp](http://www.gaido.jp)

vol.358・3月10日号

毎週木曜発行

4面にプレゼント情報!

●Oh!Me 編集室／株式会社ヤマブラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927  
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数：100,000部  
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5

滋賀大学教授で滋賀の食事文化研究会事務局の堀越昌子さん。研究会創立20周年を記念して滋賀県立琵琶湖博物館でギャラリー展示「食事博」を開催中。郷土料理の紹介や「伝統食弁当」も食べられる。

## 「米」と「淡水魚」がキーワード

滋賀の食文化のキーワードは「米と淡水魚」。一般家庭で「米」によって「淡水魚」を漬物にしてしまうなれずし（フナずし）はその象徴だ。

日本最大の淡水湖・琵琶湖の周囲は近江米で知られる広大な水田地帯。かつて湖岸では、フナ、ナマズ、モロコなどが田んぼに上がってきた。食べきれ

ないときや雪深い冬

に備えた保存食

品として、米

による保存技

術が生まれた。

豊富に取れる

米は「飯」だけで

なく、「餅」「団子」

としてもよく食べられた。そこに田畑の幸だけでなく、水田地帯の周囲に連なる里山や山林からの多彩な食材も加わり、豊かな食文化が発達した。

## 現地で学び、実際に作る

堀越さんは長浜で生まれ、幼いころから母手作りの湖魚の佃煮を食べて育った。大学の農学部で学び、修士課程を終えて滋賀大学に赴任した。食に関する研究を続け、20年前に「滋賀食事文化研究会」の活動を開始した。当初は『聞き書・滋賀の食事』（農村漁村文化協会刊）の編集者・

執筆者を中心に13人で出発。それが今では130人。フナずしや麴などの食品製造・販売に携わる人や、主婦、教師、栄養士など実に多彩だ。

研究会は年6回。現地で学ぶことを大切にしている。実際に現地へ出向いて学び、実習もする。におい、味、作り方、ちょっとした工夫など現地取材して初めて分かることが多いからだ。

日野町では鹿肉のさばき方を教わって鹿肉料理を作り、

信楽では茶がゆを作った。フナずしや豆腐にも挑戦してきた。琵琶湖の魚を見せてもらい、魚獲高が減

っている現状も知った。最近はタイやラオス、中国へ稲作文化圏の調査に行き、

滋賀の食文化の源流を探っている。

## 滋賀の食文化を伝えたい

会の主催で小中高校で出前講習もしている。アメノイオご飯（ビワマスの炊き込みご飯）、丁稚羊かん、エビ豆、丁字



現地調査を行う堀越さん(写真中央)

アメノイオご飯



## 伝えたい！ 滋賀の郷土料理

滋賀の食事文化研究会事務局

堀越 昌子 さん (大津市在住) 64歳

麴のからしあえなど、子どもたちは初めて食べる味に驚きながらも「おいしい」と喜んでた。予想外に簡単に作れることも、子どもたちの興味を引いた。少しでも多くの人に滋賀の伝統食文化を知ってほしい

と、会のメン

バーで『つくっ

てみよう滋賀

の味』などの本を

出版した。滋賀県無形民俗文化財になっ

ている「湖魚のなれずし」「湖魚の佃煮」「

日野菜漬け」「丁稚羊かん」「アメノイ

オご飯」などが掲載されている。

さらに、会の発足20周年を迎えた今年、

琵琶湖博物館で記念のギャラリー展示

を実施している。どんな食材がどこで

とれるか、行事食や祭りの食など、地

域の特色ある伝統料理を写真で展示、

3月5、6日には滋賀の郷土料理、エビ豆、アメノイオご飯など150品目を再現、一部を試食できるようにした。期間中、琵琶湖博物館のレストラン「におのうみ」と共同企画した「伝統食弁当」を提供する。(取材・録山)

詳しくは [www.gaido.jp/3581](http://www.gaido.jp/3581)

4/7  
(木)まで

## 食事博

—未来につなごう近江の食と暮らし—

- 場所：琵琶湖博物館 企画展示室（草津市下物町1091番地）
- 時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 休館日：3/14（月）
- 観覧料：無料 ※常設展示は別途観覧券が必要

滋賀の食事文化研究会 事務局

- TEL：077-537-7807（滋賀大学教育学部 堀越研究室）



滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読申し込みは

フリーダイヤル 0120-468-012



連水御舟「菊（菊花園）」（左隻）（部分） 紀樗亭「春社図」（部分）  
個人蔵・滋賀県立近代美術館寄託 滋賀県立近代美術館蔵

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA  
**滋賀県立近代美術館**

TEL 077-543-2111

大津市瀬田南大萱町1740-1 文化ゾーン内

●瀬田駅よりバスで約10分

<http://www.shiga-kinbi.jp/>



**襖と屏風**  
暮らしを彩る大画面の美  
日本家屋の部屋の仕切りがない広い空間の中で、人々は襖や屏風などを間仕切りの具としていました。ここに絵画が描かれ、これら様子を外観します。近代に入ってから、大画面絵画である屏風は、それまでの座敷の美から展覧会芸術の華となり、その醍醐味を見せてくれます。

開催中～4月10日(日)まで

【開館時間】 午前9:30～午後5:00（入館は午後4:30まで）  
【休館日】 月曜日（ただし3月21日（月・祝）は開館、3月22日（火）は休館）  
【観覧料】 一般750円（550円） 高大生500円（400円）  
小中生300円（250円）※（ ）内は前売および20名以上の団体料金

●主催 滋賀県立近代美術館、京都新聞社、09CUP3美術館  
●後援 滋賀県教育委員会

**「ミキハウス子育て総研」認定**

アイムの家「Smile Series」はミキハウス子育て総研の「子育てに優しい住まい」注文住宅部門の認定を受けました!

**ママ友に自慢できるお家**

**彦根市にモデルハウスがオープン!**

**0120-05-1317**  
(株)チャンスハウジングシステム

〒528-0035 甲賀市水口町名坂914番地の1

TEL.0748-63-1317  
FAX.0748-63-6537

アイムの家 滋賀 検索

[E-mail] [info@chance-housing.jp](mailto:info@chance-housing.jp) [URL] <http://www.ch-housing.com>